

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 日高市教育委員会(生涯学習課))

- ・ 生涯学習課では、事業実施において新型コロナウイルス感染症感染防止対策を実施しました。
- ・ 生涯学習担当としては、ひ・まわり探検隊を実施し延べ903名の参加がありました。また、二十歳のつどいでは413名の参加がありました。
- ・ 6公民館において、青少年を対象にした教育事業を新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じて、実施しています。
- ・ スポーツ事業においては、第9回日高かわせみの里ツーデーウォークを開催し、2日間で4,022名の参加がありました。
- ・ 図書館事業においては、おはなしポケット、ビブリオバトル等の教室を開催しています。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 飯能警察署)

- ・ 今年度、少年非行防止ボランティア・防犯協会と連携し、日高市において登下校時の見守りを7回実施
- ・ 今年度、日高市内の小中学校において非行防止教室を7回実施
- ・ 今年度、少年非行防止ボランティア・学生防犯リーダーと共に、飯能警察署管内で街頭補導を18回実施

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市校長会(高麗川小))

- ・ いじめアンケートの実施 (学期に1回)
- ・ 個人面談の実施 (学期に1回)
- ・ 登下校の見守り
- ・ 主任児童委員さんとの情報交換
- ・ アフタースクールの実施 (高麗川地区青少年健全育成の会)
- ・ 各関係機関との連携
 - 1年 とまとの約束 (飯能警察署) 交通安全
 - 3年 フレンドリースクール (飯能警察署)
 - 4年 CAP学習 (くれよん)
 - 6年 薬物乱用防止教室
- ・ 市内8つのエリアのパトロール (学期に1回)
- ・ 「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち、朝えがお」の取組 (合言葉)
- ・ 「5つのがんばり (あいさつ、学習、ゲーム、読書、規則正しい生活)」を推奨 (小・中・PTA・健全育成での取組)
- ・ 道徳科授業を中心とした全教育活動

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市校長会(高萩北中))

○中学校での取組

- ・ いじめアンケートの実施 (生徒は学期に1回、保護者は年に1回)
- ・ 個人面談、三者面談の実施
- ・ 民生委員・主任児童委員との懇談会
- ・ 人権学習 (いじめ撲滅宣言、人権カレンダー制作)

○小中で連携して活動

- ・ 児童会・生徒会の連携による小中合同あいさつ運動の実施
- ・ 中学生による小6児童への中学校生活の説明会

○PTAとの活動

- ・ PTA、生徒による花植え活動
- ・ PTA、教員合同の下校パトロールの実施
- ・ PTAあいさつ運動

○健全育成の会との活動

- ・ 青少年健全育成の会主催の地域懇談会 (情報交換会) の実施
- ・ 青少年健全育成の会主催の行事の実施
地域清掃、クリスマス会、古民家コンサート、スポレク大会、花植、卒業講話

○コミュニティスクールとして

- ・ これまで学校を支えていただいていた「学校応援団」をより多くの、幅広い層の皆様に参加していただく「地域学校協働活動」に発展させ、その中心となる「地域学校協働本部」を立ち上げています。

例 高萩北地区では、「輝多っ子サポーターズ」(K I T A)として、北公民館が中心となってメンバーを募集しています。

チームK (環境)、チームI (Intelligence 学習支援)、

チームT (Takahagikita 地域)、チームA (安全)

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 県立日高高等学校)

- ・ 青少年健全育成対策の一環として、生徒会を中心に朝の挨拶運動及びゴミ拾い活動 (武蔵高萩駅～日高高校) を毎週水曜日の朝に行っています。
- ・ 日高市ツーデーウオークに生徒会から2名がボランティアで参加しました。
- ・ 赤い羽根共同募金、緑の羽根共同募金、書き損じはがき収集・寄付 (ひとみ園) の協力活動に、生徒会を中心に取り組んでいます。
- ・ 飯能警察署の御協力をいただき、7月に非行防止教室 (ネットトラブル等について)、12月に薬物乱用防止教室を校内で開催しました。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; さいたま地方法務局所沢支局)

- ・ 8月末報告時から引き続き小・中学生からSOSミニレターを受け付けています。今年度は令和5年1月17日時点で管内5市から、59通の送付がありました。8月以降に日高市の児童からミニレターの送付はありませんでした。
- ・ 管内中学校を対象に人権作文コンテストを実施しました。1月21日に埼玉県大会の表彰式があり、日高市立高麗中学校の生徒が1名奨励賞を受賞しています。参加していただいた各中学校には順次結果通知及び記念品等を送付させていただいています。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市いじめ問題専門委員会)

- ・ 市内小学校で発生した、いじめが重大事態になったことによる「いじめ問題専門委員会による調査」は、昨年7月に報告書をまとめ被害者・加害者の保護者に手渡し、後日改めて説明をした。
その結果、被害児童保護者から報告書に対する要望はあったが、再調査の必要性がないと判断し、調査を終了とした。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市民生委員・児童委員協議会)

- ・ 市内の各小・中学校ごとに民生委員との連絡会議を行っていたが、現状は昨年同様、主任児童委員が各学校や各民生委員等から情報収集にあたり、連絡を取り合いながら対応している。
- ・ 市内学校区別の夏のパトロールは見送っている状況である。

(次ページあり)

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市社会福祉協議会)

- ・ 夏休み期間を利用し、ボランティア体験プログラムを実施。参加者 120 名のうち小学生 3 名、中学生 85 名、高校生 14 名の参加があり、保育活動や環境美化活動、自宅でスポンジボールや紅白旗等を製作し保育施設や高齢者施設に届ける活動を行った。
- ・ 12 月 3 日 (土) 障がい者スポーツプログラムを開催し、運営補助のボランティアとして中学生 10 名が参加。
- ・ 地域食堂、子ども食堂を市内 5 団体が 6 ヶ所で実施。コロナ禍で集まったの食事提供が再開できていないが、お弁当を配布し地域のボランティアの方が子どもたちに声掛けを行っている。
- ・ 今年度も食の支援を必要とする世帯を対象に年 8 回フードパントリー (食料支援) を実施予定で 1 月までに 7 回開催。利用者の約 6 割が子育て世帯。
- ・ ヤングケアラー支援のための教育・福祉合同研修会に参加。近隣市町村の相談窓口や仕組みづくりについて情報共有。
- ・ 市内小学校 6 校で福祉教育を実施。内容は福祉についての話を始め、車いす体験や点字体験、高齢者体験等を実施。
- ・ 生活困窮者自立相談支援センターでは、ひとり親世帯からの相談が増え、利用できる制度の情報提供や関係機関へのつなぎ、状況に応じて緊急一時的な食料支援等を実施。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市区長会)

- ・ 通学路交差点で、小学生下校時の見守り及び交通安全の声かけをしました。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市保護司会)

- ・ 年間を通して保護観察・環境調査の実施
- ・ 社会を明るくする運動
 - 7 月は市内各学校・公民館は啓発物品配付
 - 11 月は市民まつりにおいて啓発物品配付し P R
- ・ 高麗地区にてミニ集会実施 (薬物乱用防止について)
- ・ 会員研修として映画視聴 (君の笑顔に会いたくて・かけがえのない命と向かい合った保護司の物語) (令和 5 年 2 月 7 日高萩公民館)

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 青少年育成日高市民会議)

- ・ 9月 「日高市音楽の集い」に協力。3年ぶりの開催となった。
- ・ 11月 市民まつり会場（ひだかアリーナ）にて薬物乱用防止啓発用ポケットティッシュ・チラシ等を配布、各地区青少年健全育成の会広報紙等設置。
- ・ 11月 「青少年の主張大会」を作文審査で、また「家族ふれあいポスターコンクール」を美術家協会の選考により開催。受賞者へ賞状、副賞等は各学校にて表彰。
- ・ 12月 上記受賞作文及び作品展を高麗の郷・ひだかアリーナ内ミニギャラリーで開催。
- ・ 令和5年2月 手づくり凧揚げ大会に参加し、青少年健全育成等啓発活動（啓発用ティッシュ配付、「懸垂幕」設置）を実施。
- ・ 青少年の主張大会の「作品集」及び広報誌「ハッピークローバー」を今年度中に発行予定。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市PTA連合会(武蔵台中学校PTA))

- ・ 下校パトロールの実施
- ・ 通学路安全総点検の実施
- ・ スクールガード研修会参加

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市子ども会育成連絡協議会)

- ・ 今年度のおらがむらの相撲大会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。
- ・ 第32回ひだか郷土かるた大会を開催しました。
- ・ ひだか郷土かるたを新しく作ります。今年度は読み札を募集しました。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市青少年相談員協議会)

- ・ 今年1月ひだか郷土かるた大会に読み手として協力しました。
- ・ 2020年～2022年はコロナの影響で主催イベントは行えませんでした。

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名 ; 市青少年育成推進員会)

- ・ 青少年育成日高市民会議、地区の健全育成の会に協力。
パトロール、手づくり凧揚げ大会、青少年主張大会など

各団体活動実施状況及び青少年健全育成対策についての報告書

(団体名；埼玉女子短期大学)

- 1 授業「マナーとホスピタリティ I II」：埼玉女子短期大学根幹の授業のひとつとして、「心の美人」を目指すことを目標とし、豊かな心の育成、他者を慮る心の育成を「マナーとホスピタリティ I II」の授業を通して1年間学ぶ教育プログラムを行っている。今年度も、「マナー・ホスピタリティ検定」を2月9日に実施した。
- 2 森川・エアライン専門ゼミ 福島県塙町を協賛で池袋サンシャインシティにてダリアマルシェ主催 ダリア農園で作業、塙町のPR活動、SDGsに関する塙町との協働を行った。ゼミ活動の継続性を活かした「学食プロジェクト」では、従来の福島県の規格外野菜に加え、日高市の農園と提携し、自産地消費要素も取り入れた活動を行っている。規格野菜の有効利用や食品油の再利用等を具現化し、4度にわたる学食プロジェクトや、食用油の再利用としての大学祭ワークショップとキャンドルナイトを行っている。さらに、社会人基礎力グランプリ 東北関東大会にも出場し、これらの活動を発表する。2月2日（金）には、飯能日高ケーブルテレビにて、SDGs活動を広めた。こうした活動を通して豊かな心の育成、他者を慮る心、自信を持って自らの考えを発信する力の育成を目指している。
- 3 三ツ木専門ゼミは、「ちちぶアンバサダー」活動として、埼玉県秩父エリアと産学連携プロジェクトやちふれASELフェン埼玉との協賛で、VIPアテンド、オフィシャル冊子作成・配布を行った。さらに日高市との産学連携プロジェクトや、大宮アルディージャプロジェクト、埼玉トヨペットとの産学連携プロジェクトで、「雑誌 bridge{粹}」をプロデュースし、「ツーリズムXPO 2022」に出展した。専門ゼミ（特別学外活動）の一環として、こうした企画・運営を通して豊かな心の育成、他者を慮る心、自信を持って自らの考えを発信する力、問題解決能力の育成を目指している。
- 4 新型コロナウイルス感染対策を講じつつ、大学祭では1日目は学内のみの企画とし、教室を使った飲食を伴わない展示や、ザ・ベストテンなどの企画で賑わった。2日目は、学外の来場者も迎え、お笑いライブや武蔵越生高校の吹奏楽部による演奏などを行い、764名の来場者があった。さらに、ダンスフェスタエアライン専門ゼミによるSDGs啓蒙活動キャンドルナイトなどが催され、人と人のつながりを感じることができるプログラム運営となった。
- 5 小堺専門ゼミでは、国際ICT利用研究学会 第7回全国大会に出場し、学生賞を受賞した。また、「昭和の町の感謝祭」として、産学連携による地域活性化活動にも取り組んだ。